

1. 日時

令和7年3月9日(日) 午前9時から13時まで *Cisco Webex を利用した web 会議

2. 議題

1. 理事長挨拶

2. 研究協議

(1) 令和6年度 検定試験実施報告・事業報告

- ・第72回検定(令和6年9月8日実施)は、実申込者48,262名で前年度より3,867名減少した。
- ・第73回検定(令和6年12月15日実施)は、実申込者41,324名で前年度より1,584名減少した。

・英語スピーチコンテストは令和6年9月15日(日)、東京の全商会館で開催した。レシテーションの部とスピーチの部をあわせて94名の生徒が出場した。両部門ともに決勝をなくして本選のみ実施した。

(2) 検定問題考察

より精度の高い検定試験となるように、今後も多様な出題を目指していく。

(3) 試験の実施、報告について

- ・監督指示書の内容変更が検定直前の連絡になってしまった。
- ・リスニングCDは、検定問題到着後すぐに録音状態を確認してほしい。
- ・新全商webシステムでは、「ユーザID」及び「個人ID」で管理しており、問題用紙は「受験番号」を記入する欄がある。統一してほしいとの要望が多ければ、変更を検討するのでご意見があればお寄せください。

・本部校廃止に伴い、資料提供の希望がある場合はPDFデータを提供することになった。県検定委員会経由で全商協会まで。

・令和7年度検定は令和7年9月7日(日)、令和7年12月21日(日)に実施予定。

・スピーチコンテスト 令和7年9月21日(日)東京・全商会館

・令和8年度から出場資格の変更あり。

3. 講話

文部科学省 初等中等教育局参事官(高等学校担当)付産業教育振興室教科調査官 岩館良伸氏

不確実性が高まる現代、将来を生き抜く子どもたちへの教育がどのようになされるべきなのか、どのような力を伸ばしていくのか、引き続き各学校現場において生徒の現状を把握しながら検討していくことが必要である。中でも、生成AIの教育への活用については、そのメリットやデメリットを考慮して各校で取り組んでほしい。今後も商業教育における外国語指導の重要性を認識して教育活動を展開してほしい。

4. まとめ

生徒の力を伸ばしていくような指導について、今後も実践、修正を繰り返して基礎基本の英語力が身につくように努めていきたい。